

経緯

2009年10月10日	第2回日中韓サミットで李明博・韓国大統領が事務局設置を提案
2010年12月16日	日中韓協力事務局設立協定署名(翌年5月17日発効)
2011年 9月 1日	韓国(ソウル)にて活動開始
2013年 9月 1日	日本から岩谷滋雄事務局長(前駐オーストリア大使)が就任(任期:2015年8月末まで)
2019年 9月 1日	日本から道上尚史事務局長(前在釜山総領事)が就任(任期:2021年8月末まで)
2023年 9月 1日	李現事務局長就任(任期:2025年8月末まで)



目的

- 日中韓の政府間協議(日中韓サミット、外相会議、その他閣僚会議等)に出席し、それらの運営・管理するための支援を提供するとともに、協力案件の探求及び実施を促進することにより、3か国間の協力関係の更なる促進に寄与。

事務局組織

- 事務局予算は、年間約3,701千米ドル(日中韓3か国による均等拠出)。我が国からは、約1,107千米ドルを拠出(2024年度・義務的拠出金)。
- 事務局幹部職員は、日中韓の政府職員から構成。一般職員は日中韓の出身者を公募(職員数合計35名)。

○事務局長 1名: 李熙燮(イ・ヒソプ)(韓)(前在福岡総領事)

○事務局次長 2名: 圖師執二(日(外務省職員))

顔亮(ヤン・リャン)(中(外交部職員))

・任期2年、事務局長は韓→日→中の輪番制(次期事務局長は日本から派遣予定)。事務局次長は他2か国から派遣。

○部長 4名: 総務部長(韓)、政治部長(韓)、
経済部長(中)、
社会・文化部長(日(外務省職員))

○一般職員 28名



これまでの活動実績

- 日中韓政府間協議への出席及びその運営・管理の支援

・日中韓外相会議(2023年11月、韓国・釜山)

・日中韓サミット(2024年5月、韓国・ソウル)

- セミナー、シンポジウム、文化行事等の開催

・日中韓三国協力国際フォーラム(IFTC)

➢ 原則、3か国持ち回りで毎年開催

➢ 直近の開催は、2024年韓国、2023年中国、2022年韓国(ハイブリッド)、2021年韓国(ハイブリッド)、2019年中国、2018年日本

・日中韓ユースサミット(TYS)2024(2024年8月)

・日中韓+ASEAN青年大使プログラム(YAP)(2024年2月)

・第3回日中韓ユーススピーチコンテスト(TYSC)(2024年3月)

・第8回日中韓記者交流プログラム(TJEP)(2024年3月) 等

- 日中韓協力にかかる対外広報・発信

・日中韓協力を象徴する「単語」の発表や経済報告書の発刊等